

(ハロー)
Hello!
こんにちは!



2019年
1月号

Yoo Sang Jun さん

劉 相俊 / ユ サンジュン

アメリカ出身。米国弁護士。
大学卒業後、中国、韓国へ留学。
韓国への語学留学中に仁美さんに会い、遠距離恋愛を経て結婚し、3年前に生野区へ。家では英語、韓国語、日本語が飛び交う。

一番話しやすい言葉は？

英語です。両親は韓国系アメリカ人で僕はニューヨークで生まれて3年前までいました。大学を卒業後、一度ソウルに語学留学したんです。韓国語はこどもの頃から触れていたけど、話せても書けないし読めなかったんですよ。でもまさか、その時は日本語も話せるようになるとは思ってもみませんでした。今でも日本語は少しだけだね。

生野はどんなまち？

住みやすいまち。今思うとニューヨークは、人も車也多すぎたし、毎日が慌ただしくて、なんだかストレスが多かったかな。アジア系ってことで、ちょっとした疎外感もあって。生野のまちは、人がフレンドリー。知らない人でも気さくに声をかけてくれる。外国から来た僕としては、それがうれしかったり。そんな風に話しかけられるって思っていなかったから。ニューヨークもたくさんの国の人がいんだけど、このまちもほんとにたくさんの国の人がありますよね。そこもおもしろい。そんなことを思ってたら、2年のつもりで来たんですが、もう3年。これからも家族と住みつづけたいまちです。

2019年
2月号

(ナマスデ)
नमस्ते
こんにちは!



SAPKOTA NANDALAL さん

サブコタ ナンダラル

ネパール出身。シェフとして若くからインドのニューデリーなど海外で経験を積み、2005年に来日。大阪の繁華街のレストランで働き、夫婦で2016年に生野で店をオープンして3年目。ネパールで暮らす息子2人とは年に1度会うのが楽しみ。

故郷はどんなまち？

故郷のまちはヒマラヤに近くて、雪山がほんとに大きく見えるんだ。たぶんびっくりするくらい。でも、夏は45度くらいまであがるから暑くて。こどもの頃はヒマラヤからつづく川で、よく泳いだよ。川の水が気持ちよくて。でも危ないから母親から入っちゃダメだってよく怒られたな。あとは山で木登りして、果物をもぎ取っては、友達とよく食べたよ。海外での生活も長くなって来たけど、やっぱり故郷が好きだな。だから店の名前にも、故郷の名前を入れたんだ。初めての自分の店だから、故郷の名前。いいでしょ？

生野に暮してどう？

店でいろんな人に出会えるよ。生野の人って、はじめて店に来てくれた人でも、僕の顔を見て、ネパールってどんなところ？とか、ネパールに行ったことあるよって、気軽に話しかけてくれる。そんな距離感がうれしいんだ。年に1度、店を休んでネパールに帰るんだけど、そのあとお店を再開する時は、ご近所からたくさん食べに来てくれる。お店が忙しかったら、お客さんがエプロン付けて手伝ってくれたりもするよ。あとカレーを作るのにたくさんのスパイスが必要だけど、生野のまちで揃うんだよ。買い物も全部ご近所で。

僕にとっては楽しくて便利な所かな。

(チャオ)
Ciao!
こんにちは!



Gabriella Rana さん

ガブリエッラ ラナ

イタリア出身。イタリアの大学を卒業後一度来日し、一年間暮らしたあと帰国。しかし日本好きが止まらず2年前に再度来日し、現在で生野でのくらはしは通算4年目に突入中。公的な機関で働く傍ら大学でイタリア語を教える。

故郷はどんなまち？

イタリアって長靴みたいな半島でしょ。そのかかとのところにある街に住んでいたの。海が近くて、中世の建物も多く残っている石畳の街バーリ。大きな白い教会があって、その白と海の青さのコントラストがなんとも言えない雰囲気のある街なんです。あとは小さな耳たぶって言われるショートパスタが有名。家族で食べる分は、軒先でお母さんたちがおしゃべりしながら小麦粉を練って作ってました。耳たぶっておもしろいでしょ。オレキエッテって名前のパスタで、この形にするのはちょっとコツがいるけど、私も大好きで自分で作って食べてます。

生野のくらはしはどう？

仕事のチャンスをつかむには東京を選ぶ人も多いけど、私は生野が好きで、また戻って来ました。日本の人はシャイな人が多いイメージだったけど、実際に会った生野のまちは人は違ってたんです。みんな明るくて、いろいろ話しかけてくれる。だから商店街での買い物もすごく楽しくて。

あとは銭湯も好き。実はイタリアにも銭湯があるんです。今住んでいる家の近くにも、たくさん銭湯があってうれしい。週に1回は銭湯に通ってます。その日の気分によって選べます。ゆっくりのんびり湯船につかりたい時に行く銭湯、楽しくおしゃべりしたい時に行く銭湯って。生野でのくらはしは、心も体もポカポカになります。



THET WAI OO さん

テット・ワイ・オー

ミャンマー出身。学生。

高校卒業後、ヤンゴンで衣料品店を営む父の仕事を手伝いながら、日本語を勉強し、昨年4月に生野へ。電気工事士になる夢に向かい、現在、日本語学校で勉強中。

故郷はどんなまち？

400人くらいが暮らしている村で、一面田んぼが広がっています。収穫の時期には稲穂でいっぱいになるんですよ。親戚もたくさん住んでいて、みんな顔見知り。村には菩提樹があるお寺があって、そこで毎月いろんなお祭りをするんですよ。その日は、いつもお寺に村中の人が集まります。春には、その菩提樹に水をあげるお祭りがあるんです。高校卒業するまでそこに暮らしていました。

ミャンマーでは、みんなバイクに乗っていて、日本のバイクが有名なんです。僕も憧れていました。それでかな、高校の時くらいから日本に行きたいなって思うようになりました。

生野に来てどう？

驚いたのは年配の人が元気なところ。それにみんな気さくで。学校で地域の行事に参加したとき、そこで出会ったおじいさんが、僕に日本語上達のコツを教えてくださいました。いっぱい会話を聞くことだって。知り合いもまだ少ないので、ドラマとかテレビ番組をいっぱい見て勉強しています。今ではだいたい話している内容を聞き取れるようになりました。これから電気工事の技術を学んで、いつか僕の故郷の村でみんなの役に立ちたいな。



孫 秀燕さん

ソン シュウエン

内モンゴル自治区出身(中国)。中国の大学で2年日本語を学び、2003年に三重県の大学に留学。卒業後は大阪で勤め、中国出身の夫と出会い、結婚を機に生野へ。現在、在宅で仕事をしながら6才の息子さんの子育て奮闘中。家では中国語と日本語が飛び交う。

故郷はどんなまち？

モンゴルって言うとゲルの遊牧生活を想像しがちなんですが、私の家は中心市街地にあってマンションでした。でも、街から草原まで近くて、窓から眺める景色は壮大！ゆるやかな山々と見わたす限りの大草原なんです。あと、羊肉をよく食べるんですが、なんと朝から食べます。昼間から白酒（バイジウ）という度数の高い蒸留酒を飲む人もいて。寒い時は-47℃まで冷えるから温まるためかな。友達が集まったら、その場で歌って踊って、陽気な人が多いです。今では毎年たくさんの観光客が来る観光地なんですよ。

生野のくらしはどう？

住むなら生野がいいよって友だちにも宣伝しちゃうくらい気に入ってます。天王寺や難波にもすぐ行けるし、周りの人も親切。近所のお花屋さんも「こんにちは」「こんばんは」って毎日声を掛けてくれて元気が出ます。内モンゴルは多民族ですが、生野も多くの国籍の人が住んでいますよね。ここで中国の友達もでき、母国語でおしゃべりできて嬉しいです。これからもずっと暮らしたいな。



Julia Widjaja Kinoshita さん

ジュリア ウィジャヤ キノシタ

インドネシア出身。高校卒業後、語学の勉強のため中国へ。その後オランダにも5年滞在。2007年、中国で知り合った日本人の夫と結婚し、それを機に夫の生まれ故郷の生野に。貿易、翻訳などの仕事をしながら4歳の娘さんの子育て中。

故郷はどんなまち？

ジャワ島にある東ジャワ州の州都、スラバヤ市というところです。私が住んでいたのは海の近くの街だけど、車で少し走ると山や緑がいっぱいの自然が広がっているんです。ブロモという活火山があって、山頂から幻想的な日の出が見られます。インドネシアは、多民族で、島ごとに文化も食べ物の味付けも違うんです。好きなインドネシア料理はミーゴレン！目玉焼きを乗せたやきそばで、スパイスが効いていておいしいですよ。

生野に来てどう？

みなさん気さくに話しかけてくれるのがうれしい！近所の年配の方が娘をかわいがってくれるんです。娘と夏まつりやだんじりなど地域のイベントにも参加しています。一緒に暮している夫の母には、日本語や日本の料理を教えてもらいました。はじめは日本語がわからなくて電子辞書でやり取りしたことも（笑）。いまでは肉じゃがが得意料理。これから、生野に住むいろいろな国の方とも知り合えたらいいな。



▲ ミーゴレン